第22号

令和４年度　長崎市立長崎中学校　学校だより

一歩前進

R5.3.1　発行
校長：種吉　信二

卒業式の歌に寄せて

学校における最大の行事である卒業式を、卒業生、在校生ともに人生の節目として前向きにとらえることができるよう今年度は式歌を生徒に選んでもらいました。これまで様々な人の支えのもと義務教育を終えることができることに感謝の気持ちを込めて３年生は卒業曲に「３月９日」（藤巻亮太：作詞、作曲）を選び、練習しています。その歌詞の一部を紹介します。

青い空は凛と澄んで　羊雲は静かに揺れる
花咲くを待つ喜びを
分かち合えるのであれば　それは幸せ
この先も　隣で　そっと微笑んで
瞳を閉じれば　あなたが
まぶたのうらに　いることで
どれほど強くなれたでしょう
あなたにとって私も　そうでありたい

いつまでも子供と思っていたわが子がいつの間にか親を思いやれるようになりました。親の助言や忠告を干渉だとして迷惑がっていても心のどこかでは本気で自分を心配してくれている人に感謝しています。なかには反抗期を迎え、素直に思いを伝えることができないお子様もいると思いますが、卒業の歌にこの曲を選んだ子供たちは本当に素敵だと思います。３年生は残りの時間を大切にして次のステージにつなげてほしいと心から願います。

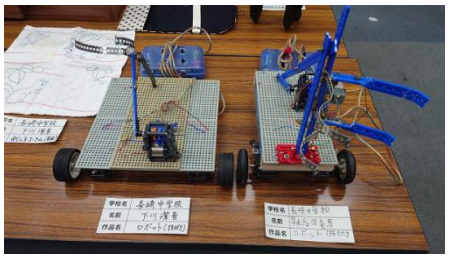
祝！！　文部科学大臣表彰

ご報告が遅れましたが本校の野口　幸一　先生が文部科学大臣表彰を１月に受けました。若手教員の中でも特に優れた指導力が認められました。野口先生は研究主任として本校のＩＣＴを有効活用した授業改善の取組を積極的に進めるとともに、長崎県内の若手の先生方へ授業提供を行うなどの功績が高く評価されました。このような先生が本校にいることを誇りに思うとともに、本校の研究に携わってきたすべての教職員に対して評価をいただいたものと受け取っています。

今回の受賞を受けてこれからも、「生徒は有能な学び手」であるという信念を抱きながら、生徒の主体的な学びを支える職員集団でありたいと強く思いました。

作品展に参加して

２月１７日（金）に長崎県勤労福祉会館で長崎市中学校特別支援教育研究部会の作品展が開催されました。本校からは３年生の下川　潔音さんと２年生の早稲田　竜馬さんの作品が出品されました。また、早稲田さんは体験活動にも参加して、長崎市内の他校の生徒と楽しく交流しました。



（ロボットや刺し子ふきんなどを出品しました）

（じゃんけん列車で仲が深まりました）

起業家教育を学びました

２月２８日（火）に大村市立玖島中学校の横田亜規子教諭を講師に招き起業家教育に関する職員研修を行いました。コロナ以前の中学校ではキャリア教育の一環として学ぶことと働くことをつなぐ活動として職場体験学習を実施してきました。生徒がさらに地域の良さや魅力を発見し、地域貢献を自分事としてとらえる活動としての起業家教育について学びました。横田先生からは実施したことによる生徒の変容や学校が地域とつながることで教職員としての幅が広がったことなどを実感のこもった言葉で語っていただきました。どうもありがとうございました。

（実施における不安や悩みや期待感を共有できました）